



保守点検のため、日野川堰のゲートを倒伏しました。

日野川河川事務所

平成27年10月2日(金)

農業等で水を利用している人と調整したうえで、平成27年10月1日(木)に保守点検を行うため日野川堰のゲートを倒伏しました。

日野川河川事務所では、毎年10月にゴム製のゲートを倒伏し「ゴムが傷んだり穴が開いていないか」「空気を送り込む機械に異常がないか」など1ヶ月かけて点検を行い、堰の機能維持と構造物の長寿命化を図ることができるよう取り組んでいます。

日野川堰はナイロン織布と水密製を保つクロロプレン系ゴムで構成された厚さ5.5mmの円筒状のものです。普段はゴム袋を風船のように膨らませていますが、今回点検のために空気を抜いてしぼませました。

堰倒伏前

倒伏前には、巡視やサイレン・音声警告を行い、下流の安全を十分に確かめたうえで実施しました。

5つのゲートのうち最初に真ん中のゲートからしぼんでいきます。

堰倒伏後

水位が下がって河底が見えました！

倒伏完了！

5つのゲートすべて倒伏した様子

CLICK!

画像をクリックすると動画が見られます

2015年10月2日 日野川堰